

2018年度 小樽歯科衛生士専門学校  
学校自己評価

1、学校の教育目標

<教育理念>人間性豊かな歯科衛生士として、地域の保健医療に貢献できる医療人を育成する  
「愛と知と技を備えた」

2、評価項目の達成及び取り組み状況、今後の改善方策を下記基準により点数評価する

適切：4 ほぼ適切：3 やや適切：2 不適切：1

(1) 建学の趣旨と教育の方針 評価値：2.6

- ・学校の建学の趣旨と教育の方針の学生、保護者等への周知について  
文書、HP等を通じて周知を図っていく

(2) 学校運営 評価値：3

- ・教育理念に沿った学校経営方針について  
教職員の更なる連携が必要で、より改善していく。  
歯科医師会との情報の共有、連携をより強固にしていく
- ・就業規則、人事労務管理等の整備について  
就業規則を作成し、運用している。  
教職員の勤務状況等（勤務時間、出欠勤、休暇、出張）においては、  
出勤簿、届書、願い等が適切に提出され、記録、保管されている。
- ・コンプライアンスについて  
学生や保護者に対し、学校の発信物に記載する際の個人情報の保護  
について許可を得ている。
- ・情報公開、情報システムについて  
学校ホームページに公開する予定である。

(3) 教育活動 評価値：3

- ・教育課程の編成について  
規程授業時間数を確保している。  
授業担当教員、歯科衛生士教育に適した人材の確保に取り組む。
- ・教育指導方法について  
教育内容充実の為、教員相互の情報、意見交換に取り組む。  
グループ学習やアクティブラーニングの手法を取り入れる。
- ・教育課程の実施について  
講義、校内実習、校外実習ともに年間計画通り実施された。  
実習先との連絡を密にするとともに、実習場説明会を開催し、  
実習先からの意見も取り入れる。
- ・成績評価について  
出席状況を的確に把握、管理し、受験資格の有無確認を確実にしている。  
試験終了後の成績会議を、本試験後、再試験後、再々試験後に  
開催し、公正に判定を行い、進級、卒業認定を行った。  
校外実習は、実習指導者による評価を実施している。  
学生に問題があれば、学校に連絡をいただき、連携して指導にあたった。
- ・教員の資質向上のための取り組みについて  
専任教員研修会へ参加した。  
その他研修会への参加を検討する。

(4) 学修成果 評価値：3.6

- ・国家試験について  
11月から試験準備講義を開始し、1月より夜間、土曜日の補講を実施した。  
結果、全員合格を達成した。
- ・退学者について  
入学前教育として、2度のオリエンテーション開催や課題提出を  
行ったり、個人面談、3者面談を行ったが、3名退学した。
- ・就職について  
卒業生全員が就職した。

- 求人情報の開示時期や医院見学、面接開始時期を検討する。
- ・ 卒後の学生のフォローアップについて  
小樽市歯科医師会、本校同窓会と連携し、卒業後の動向等の情報を共有化し、リカバリー事業などへの参加につなげる。

(5) 学生支援

評価値：3

- ・ 進路、就職について  
就職希望調査を行い、専任が個人面談で詳細を聞き取り、希望に合わせた指導をしている。
- ・ 学生相談について  
担任専任との個人面談や、職員を含めた面談を行っている。
- ・ 経済的支援について  
小樽市歯科医師会奨励金、一人暮らし支援制度、遠距離通学支援制度  
社会人支援制度それぞれで支援を行っている。
- ・ 健康管理について  
健康診断の実施、B型肝炎の抗原抗体検査、ワクチン接種を行っている。
- ・ 保護者との連携について  
定期的に、出欠状況や近況を記した文書を発信している。  
学校生活全体の様子や取組みを載せた文書の発行を検討する。
- ・ 卒業生への支援について  
歯科医師会主催のリカバリー事業への参加を、同窓会とも連携し  
より充実させていく。  
求職の問い合わせがあれば、相談や再就職を支援している。

(6) 教育環境

評価値：2.6

- ・ 施設、設備の整備について  
教室内に、スクリーンやパソコンは整備されているが、年数が経過しているものも多く、今後入れ替えを検討する。  
クーラーやストーブなどの空調設備で、一定の温度調節に難があり  
今後整備が必要である。
- ・ 実習施設との連携について  
実習場説明会の開催など、より一層の連携が必要である。
- ・ 防災体制について  
避難訓練を実施している。

(7) 学生募集

評価値：2.6

- ・ 学生募集活動について  
高校訪問、進学相談会への参加、オープンキャンパスの開催など  
かなりの努力はしている。しかし結果として定員割れの状況である。
- ・ 広報活動について  
おたるワークステーションへの参加、小樽商科大学の学園祭への参加、  
お化け屋敷の開催など、幅広い層に向け活動した。  
次年度も内容の充実をはかり、同様に参加する。
- ・ 学生納付金について  
授業料の納付期限に遅れる者への対応を検討する。

(8) 財務

評価値：2.6

- ・ 中期的な財政基盤について  
学生数の定員割れが大きく影響している。学生の確保と共に、  
他に対策が必要である。
- ・ 予算、収支計画について  
現状に即した計画を立てている。
- ・ 会計監査について  
年2回、適正に行われている。
- ・ 財務情報の公開について  
今後、ホームページで公開する体制を整える。